

開講年度	毎年度	開講学期	夏学期	プログラム区分	総合プログラム		
時間割番号	S301	必修・選択	選択	推奨受講年度	2～3年目	時間数	10
担当講師	小林直人 (Naoto Kobayashi) / 清水栄子 (Eiko Shimizu) 他						
<b>研修題目</b>							
アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ (Academic Portfolio Workshop)							
<b>研修のキーワード</b>							
アカデミック・ポートフォリオ(Academic Portfolio)、教育理念(Teaching Philosophy)、教育目的・方法(Teaching Objectives、Methodologies)、研究の特徴(Characteristics of Research)、社会貢献・管理運営の特徴(管理運営、社会貢献) Service (Characteristics of Services, Management)、業績改善 (Professional Accomplishment)、統合 (Integration)、目標 (Goals)、エビデンス(Evidences)、メンタリング (Mentoring)、メンター (Mentor)、メンティー(Mentee)							
<b>研修の目的</b>							
<p>アカデミック・ポートフォリオとは、教育、研究、社会貢献・管理運営活動の業績についての自己省察による記述部分およびその記述を裏づける根拠資料の集合体であり、一人の大学教員の最も重要な専門的成果に関する情報をまとめたものである(ピーター・セルディンほか著『アカデミック・ポートフォリオ』より)。</p> <p>一般的に、アカデミック・ポートフォリオは、合理的で公正な人事決定と教員一人ひとりの専門能力の開発のために、自らの業績を証し、業績を改善することを目的としている。また、ティーチング・ポートフォリオとの大きな違いは、教育に加え、研究、社会貢献・管理運営活動の省察、整理を行ったあと、それぞれの領域が自分の専門分野および能力開発にどのように貢献しているかを説明することで3つの領域の統合を図ることにある。</p> <p>本ワークショップは、メンターによるメンタリングや参加者との交流を通して、教育の質向上及び問題解決や日常的な教育・研究・社会貢献・管理運営活動の改善のためにアカデミック・ポートフォリオを作成する。</p>							
<b>研修の到達目標</b>							
(1) 個人の教育活動を振り返り、教育理念、目的、方法を整理し再考することができる。				(5) 個人の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返り、教育の短期・長期目標を設定することができる。			
(2) 個人の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返り、その成果・業績を整理することができる。				(6) 自身の教育・研究・社会貢献・管理運営活動の業績を根拠付ける有効なエビデンスを付すことができる。			
(3) 個人の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返り、改善の努力を整理することができる。				(7) 自身の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を自身の専門分野および能力開発にどう貢献しているか説明することができる。			
(4) 個人の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返り、具体的な課題を明確にすることができる。				(8) メンターとの協力体制のもと、アカデミック・ポートフォリオを作成することができる。			
				(9) 参加者との交流を深め、意見交換をすることができる			
<b>研修の概要</b>							
本ワークショップでは、メンターのサポートのもと、個人の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返り、自身の教育理念・目的・方法、教育・研究・社会貢献・管理運営活動における成果、課題、エビデンスなどを中心に整理していきます。メンターが寄り添い、話し合いを重ねながら自身のアカデミック・ポートフォリオを作成していきます。また参加者同士の交流を行いながら、自身の教育・研究・社会貢献・管理運営活動を振り返る作業を行います。							
<b>学習項目</b>							
1. アカデミック・ポートフォリオの意義、活用方法 2. メンタリング(約30分を3回程度実施) 3. アカデミック・ポートフォリオ作成作業 4. ワークショップ参加者との意見交換 5. アカデミック・ポートフォリオ披露				<アカデミック・ポートフォリオの目次例> 1. 序 2. 教育:教育理念・目的・方法、教育の成果、教育改善の努力等 3. 研究:研究の特徴、学会発表・論文・書籍等のパフォーマンス、大学院生への監督指導等 4. 社会貢献・管理運営活動:学内外の委員とその役割と貢献、学生への助言等 5. 専門的活動および目標の統合 6. エビデンス等の添付資料			
<b>研修時間外に求められる課題に関する情報</b>							
・ 事前課題として、スタートアップシート、APチャートの提出を課している。							
<b>参考書 (購入する必要はないが、推奨する図書)</b>							
ピーター・セルディン、J. エリザベス・ミラー著 大学評価・学位授与機構監訳、栗田佳代子訳(2009)『アカデミック・ポートフォリオ』玉川大学出版部							
<b>連絡先</b>							
小林直人 <a href="mailto:naoto@m.ehime-u.ac.jp">naoto@m.ehime-u.ac.jp</a> 清水栄子 <a href="mailto:shimizu.eiko.ra@ehime-u.ac.jp">shimizu.eiko.ra@ehime-u.ac.jp</a>							
<b>参照ホームページ</b>							
教育企画室ホームページ <a href="http://web.opar.ehime-u.ac.jp/">http://web.opar.ehime-u.ac.jp/</a>							
<b>その他</b>							